

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和43年以前	
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	02 すこやかで生き生きとしたまちづくり
	小項目	施策	06 健康づくり
	事務事業名		
根拠法令・例規等		安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律	
問担当課(室)		保健課	
職・氏名		健康係長・白髭由美子	
合先電話		64-1820	
このシート作成に要した時間		7.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	健康な16～69歳の市民(但し60歳以上は60～64歳までの間に1回でも献血をしたことがある者)
目的(何のために)	血液を必要とする人のために、善意(ボランティア)意識向上を図り、血液確保をする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民が献血の必要性を認識し、お互いの生命を大切なものとして考えられるようになり、安全な血液確保と血液製剤の安定供給ができる。

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	献血事業	献血の必要性を啓発し、市民の理解を深めるとともに、岡山県赤十字血液センターの献血事業が円滑に実施されるよう支援する。	◎
		<献血日数>26日	
		<献血会場>48会場	
		<協力事業所>16ヶ所	
		<協力ボランティア団体>	
		ロータリークラブ、備前ライオンズクラブ、吉永ライオンズクラブ、商工会青年部	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	0	0	0
	必要人員人件費	千円	0.32人	0.21人	0.10人
	事業費	千円	881	579	697
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
繰入金債	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円	881	579	697	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	献血者数(場所別)	事業	備前市内の献血会場で献血した人数(市民外も含む)		
	結果指標量	事業	1,393	1,536	1,510
	対前年比	%	-	110.3%	98.3%
	活動コスト	円	881,000	579,000	697,000
単位当たりコスト	円	632	377	462	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
献血可能人口からみた献血率(場所別)	目標値(A)	7	7	7	7
	実績値(B)	5.1	5.8	5.8	到達目標値
	達成率(B/A)	72.86%	82.86%	82.86%	
成果指標設定の考え方・式や説明					
備前市の住民基本台帳15～69歳の献血可能人口に対する献血者数(場所別)の割合(献血者数(場所別)/献血可能人口)×100 (H19 1393/27360 H20 1536/26603 H21 1510/26175)					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	B
	市民ニーズ	
効率性の評価	コスト	B
	手段	
有効性の評価	目的達成度	B
	市民参画度	

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明			○			
新規献血者確保の為、H22年度中に市内の企業に献血の必要性の説明と協力依頼し、H23年度の配車計画に組めるよう連絡・調整を行う。又、献血者数が減少している会場においては、別会場実施を検討していく。						

総合評価		評価区分<A~E>
企業の就業者数減少や休業日の増加という不利な条件下ではあるが、献血率は低下していない。このことは商工会、ライオンズクラブ、ロータリークラブなどのボランティア団体の協力が得られていることの功績が大きい。岡山県赤十字血液センターの推進している400m1献血者数(H19 1246名 H20 1393名 H21 1399名)が増え、効率よく血液確保に協力できていると考える。又、住所別献血者数(H19 1689名 H20 1831名 H21 1848名)も年々増えており、献血ルームや備前市外の場所での献血している市民も増えている。今後市民の献血に対する意識の、さらなる向上を目指したい。		B

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標		○				
協力企業の拡大を目指し、各種イベント等で人の集まる時に献血を実施することを検討していく。						

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
事業の目的やその効性の値目標である成果指標を評価して下さい